

クラス通信

麻生本校・円山校 2021.5.14 発行

クラスユニック

中学部

令和3年5月 第3号

保護者の皆様へ

理事長・校長 福島新四郎

この「クラス通信」を通じてクラスユニックとご家庭との連携を密にし、お子様の受験準備の一助となるようお願い、発行をしています。生徒の皆さんの成功を祈りつつ、時には辛口の内容もあるかとは存知ますが、意のあるところをお汲み取りいただき、とにかく「合格」の二文字を目指して指導します。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

新年度指導方針・指導内容

小中学部担当 兵藤 晋平



4月から新年度も始まり、新しい学年がスタートしました。

当校での新学期も順調に1か月が過ぎ、ここで改めて新年度の指導方針や指導内容についてお話しさせていただきたいと思います。

1. 高校入試の出題方式変更（前月クラス通信に掲載）に向けた学習と指導方針

2022年から北海道の公立高校入試制度が変更となります。現在の中学3年生は、まさに新制度初の受験学年になるということで色々と不安も大きいのではないのでしょうか。しかしながら、高校の入試が全く無くなるとか、教科がすべて変更になるとかといった話ではありませんので、あくまで今まで通り「やるべきことをやる」という姿勢が重要になってきます。このことは当然他学年についても言えることですし、新1~2年生はまず、**学習のリズム&習慣**を早い段階で身につけることに主眼を置いてほしいと思います。

誰でも目標までの1~3年の長期的展望をいきなり明確に描くことは難しいでしょう。皆さんの受験までの期間を考えたとき、おそらくその時間はまだまだ遠い先のことのように感じるかもしれません。しかし焦る必要はないにしても、日常の学習はとても大切です。特に北海道では入試において（副教科（4教科）も含めた）内申点が重要になってきます。このことはおそらく学力試験の変更があってもなおしばらくは続いていくと考えられます。つまり、**中学1年生の1学期中間テストから入試に向けた競争が始まっている**ということになるのです。

これら北海道の高校入試の特性を踏まえ、当校では、学校での定期試験をきっちり得点していくことを重要視していきます。そのうえで、入試制度の変更などに動じない学力をつけ

<裏面に続く>

ていくことを目標に、高校入試までの期間で質・量ともに高いレベルを目指した取り組みを行っていきます。もっとも、人生の挑戦において高校入試の先にもまだまだ難関は待ち構えています。本人が目標や進路を明確に自分の中に描くことができるようにアドバイスすること、また、その進路を着実に進むことのできるように力をつけさせていくことも同様に、我々に課せられた大きな任務であると考えております。生徒一人一人が大きく成長し羽ばたいていけるよう、全力で職員一丸となってサポートしていきます。

2. 指導内容と教材

先述の通り、内申点や定期試験を意識し、メインとなるテキストは学校の教科書準拠教材を使用します。学校での学習内容の理解、問題演習を通じた得点力強化を意識した構成になっています。

また、各単元にポイント解説の映像を用意しています。塾に来ていただいたときだけでなく、ご家庭でも視聴いただけますので、苦手単元の復習や理解度の向上に役立てていただきたいと思います。

メインとなる準拠教材のほかに、演習量確保および高難度の入試問題に対応することを目的として各種プリント教材を取り入れています。進度、定着度ごとに類問を繰り返し演習できる「eトレ」というデータ教材も活用していきます。また、定期試験対策授業や総合テスト対策、各講習などで基本から応用まで、幅広い問題に対応できる力をつけていってほしいと考えています。

教科としては、長期的観点から英数の実力強化に主眼を置いて授業を行っていきます。5教科総合的な得点力アップを目指した理科社会の演習は、主に春期、夏期、冬期の講習期間に重点的に取り組んでいく予定です。また、入試に向けた初見の文章読解（国語および英語）の演習も、講習期間など定期試験対策の急を要しないタイミングに実施していきます。

応用問題を含み学習量確保を念頭に、ご家庭でやっていただく塾のHW（ホームワーク）を本人に提示していきますが、ご家庭のご都合や部活動など、本人が無理せずこなせているかどうかだけ気にかけておいていただけますでしょうか。まだ中学生の体力と本人のやる気は決して比例しているとは言えませんので、負担に感じているようでしたら早めにお知らせ下さい。

また、一つ注意点として、内申評価では主要5教科だけでなく副教科（4教科）も均等に配点されます。特に副教科に関しては定期試験に向けて勉強し、点数を取っただけでは思うような評価を得られないかもしれません。もちろん教科ごとに得手不得手はあるかとは思いますが、提出物など、必要最小限の取り組みをしっかりと行うという部分に関してはご家庭でもアドバイスさせていただきますと助かります。

末筆ですが、コロナ禍で大変な時代を生きることになった生徒たちが、これからも前を向いて突き進んでいってくれることを心より期待しています。学習内容や使用教材、各種検定について、ご質問・ご要望などありましたらお気軽にお声掛けいただければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。



※5月・6月の予定はQRコードからご覧ください。➡

麻生本校：001-0037 札幌市北区北37条西3丁目3-15 ☎011-716-7162

円山校：064-9820 札幌市中央区大通西23丁目1-1 ☎011-613-7755

麻生本校 小中学部



円山校 中学部

